



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第18号

2025年12月24日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

2025冬休みわくわく算数教室 ～はじまる!!～

12月24日、いよいよ2025年度の冬休みわくわく算数教室が始まりました。初日は、雨。足元が悪い中でも、SPさんは元気に颯爽と集まってきてくれました。冬休みから本格的に東浦町全体に広がったわくわく算数教室。運営側としては、無事に初日乗り切れるだろうかドキドキしていましたが、初日が終わってみると“いつものわくわく算数教室”の光景が広がっていたように感じます。これは、13年間脈々と繋いでくれた歴代のSPさん、そして忙しい中でも意欲的に集まってくれた素晴らしい現役SPさんのおかげです。そんなSPさんのおかげで、今年度の冬休み初日も子どもたちの笑顔と真顔（真剣な顔）、そしてわくわく感が溢れる算数教室ができていたのだと改めて感じた初日でした。



写真を見ても分かる通り、SPさんと子どもたちの笑顔が今日もたくさん見られました。SPさんは、本当に一生懸命子どもたちに関わってくれます。算数教室が始まると、多くの子どもたちが算数教室の前に置いてある著作権フリーのドリルを複合機で印刷して、学習を進めていきます。ドリルを印刷するのはSPさん。子どもたちは、どのページに取り組むか決めたら、自席に戻ってSPさんの帰りを今か今かと待っています。そして、どのSPさんも小走り？早足？とにかく急いで子どもたちの元にプリントを持ってきます。笑顔で、急いで、自分が選んだプリントを持ってきてくれたら、子どもたちはそれだけでも嬉しいですね。子どもたちのわくわく感をSPさんは大切にしてくれます。きっと多くのSPさんは無意識で急ぎ足になっているのだと思いますが、そうしたちょっとした行動から、SPさんの熱意を子どもたちは受け取っているのだと思います。90分間も座って算数の勉強ができるのは、間違いなくSPさんのこうした“一生懸命さ”が子どもたちに伝わっているからだと思います。



今日も4人のシニアSP (=卒業生) がお手伝いに来てくれました。やはり現場の先生は一味も二味も違います。何が違うのか?ぜひ、自分たちが指導している合間に、近くにいるシニアSPの様子を見てみてください。必ず得るものがあると思います。できれば、控え室でも1度話してみてください。どのシニアSPも気さくに話してくれます。現場のリアルも教えてくれるはずです。なかなかこんなに気軽に現場のことを聞ける場はありません。このわくわく算数教室は現場の先生と話せるチャンスです!



今日来てくれた4人のシニアSPの中で、一番ベテランのY先生が午前の部の終わりの打ち合わせで話をしてくれました。Y先生は、今年で9年目の高校の数学の先生です。

今日、算数教室に来て、やっぱりこうした1対1の指導は大事だなと思いました。子どもが出してきたサインに対して、どう返すか?(例えば、ここで(気持ち・気分を)のせるのか、一度釘をさすのか、見通しを持たせるために早めに何か伝えておくのか。あとは、子どもがちょっとふざけて言ってきたことを上手く利用して授業に活かすとか。)それをこのわくわく算数教室を通して学べるといいのかなと思います。

このY先生の言葉を受けて、中村コーディネーター(現 片葩小SPコーディネーター、元 片葩小学校長)もこんなお話をしてくれました。

今、Y先生が言ってくれた通りです。自分が前に立って話している時、腹が立つ時もあるけれども、そこで叱ってはいけません。まずは受け止めてやる。叱るとその子はなんの意欲も無くなってしまいます。算数教室では子どもたちがしっかり勉強している。それは皆さんがいるから。子どもたちが勉強をやりたいと思っているから。この「勉強をやりたい」と思わせるのは、教師の役目。やる気のない子を見た時に、「なんでやる気がないんだ?!」と言うのはおかしい話で、やる気のない子がいたらそれは先生の責任なんです。先生の仕事の中には、「やる気を出させる」という仕事があるんです。その練習をみなさんはここでしてくれています。いろいろ手をかえ品をかえ、いっぱいここでチャレンジしてってください。

こうした現場の先生(それも超ベテラン~新人まで)から話を聞けるのも、わくわく算数教室の特典の1つです。今は分からないな、イメージがつかないな、と感じることもあるでしょうが、現場に出た時に「そういえば、あの時、あの先生があんなこと言っていたな。」と思ってもらえたら良いかなと思います。13年続いてきたからこそ提供できる、SPならではの学びがわくわく算数教室の会場、そして控え室にはあります。せっかくの機会ですので、ぜひ一人でも多くの仲間と話をしてみてくださいね!